銀座書斎「自習室」の利用を通して気づいた、生井利幸先生の下での勉強方法

提出日 2019年7月18日(水)

英語道弟子課程 弟子・H.K.

先日、銀座書斎「自習室」の使用機会を賦与していただきました。その際に、先生は、自然な風の方が体にいいでしょう、と、窓を開けておいてくださり、更に、空調も、冷房ではなく、風が出てくるように設定してくださいました。

そのシーンを、帰宅後の自宅で、電気を消し、ろうそくの灯りの中で映画のワンシーンを見るように、一歩引いて心で眺めていると、はっと気づいたことがあり、そのことが、自分の中でジワジワと広がっていき、私だけではなく、すべての、銀座書斎に通う学習者への家族愛を感じました。

非常に恵まれた方法で、最高の最高のものを賦与してくださっていることがよくわかりました。

何に気づいたかと言いますと、銀座書斎「自習室」が提供された理由です。

さらには、弟子の清掃活動機会の賦与の理由(の一部)にも関連することがわかりました。

先生が、私たちに対し、実に色々な形、様々な側面、私たちが想像し得ない方法で、銀座書斎に、より、多くの回数、足を運べるような機会を、次から次へと、どんどん作ってくださっています。

学習者が、一回でも多くの回数で足を運び、銀座書斎の実際の空気を吸える工夫を、先生は考えてくださっているのです。

そのようにするほうが何故良いのか。

宇宙規模の計り知れない英知・美意識を持っている人は、この世の中に、生井利幸先生しかいないからです。

宇宙規模の英知のみならず美意識をも、自分の中にすべて入れるなんて、

普通のやり方、典型の勉強方法をしていたら、無理です。

だから先生は、考えてくださっていて、そして、考え続けていらっしゃるのです。

私たち学習者にとって、自然に、それらのことが吸収される、自然な吸収方法を…。

だから、自宅での勉強時に、銀座書斎の空気感を思い出しながら、とか、机から見える範囲を、銀座書斎の様にする、とか、銀座書斎を想像しながら行うのは、最高の方法です。レッスンや稽古と同じ状態を保っていたら、緊張感はなくてはならないものだと、自然なことになり、自分自身の一部になりますから、非常に大切なことです。

けど、より多く、実際の先生に触れると、(接すると)

先生が吸っている同じ空気をその場で吸うと。

先生の精神性の中にいることが自然になります。
いつの間にか、自然に、先生の精神性の中にいて、それが、自分の自然なことになります。

銀座書斎の中、外で見える英知は、生井利幸先生の精神性であって、見える英知に四方から囲まれているというのは、生井利幸先生の精神性に囲まれているということです。見える風景、景色、空気が自分の「自然なもの」となります。

床を触っているだけでも、先生の精神性の中にいて、先生の精神性に直に触れています。

より多く、先生に触れると、自然と、先生の精神性の中に入れます。

先生の精神性の中で、勉強をしたほうが、より吸収されます。
むしろ、先生に学ぶ以上は、そうしなければ、吸収しにくいと思います。
なぜなら、先生の精神を学んでいるので、自然な形で吸収されようとしなければ、本当の吸収はされないと思うからです。

銀座書斎自体が、先生の精神性なので、行くだけで、先生の精神性の中に入っていますが、ごく自然に先生と触れ、先生の生み出す空気に触れ、その空気を吸い、その中で過ごし、その中で息を吐き…としていく中で、「このように考えることが、自分にとって、自然なこととなった」とか、「自然にこのように考えていた」というくらい、自然に身に付けられる方法を、先生は、ずっと考え続けてくださっているのです。